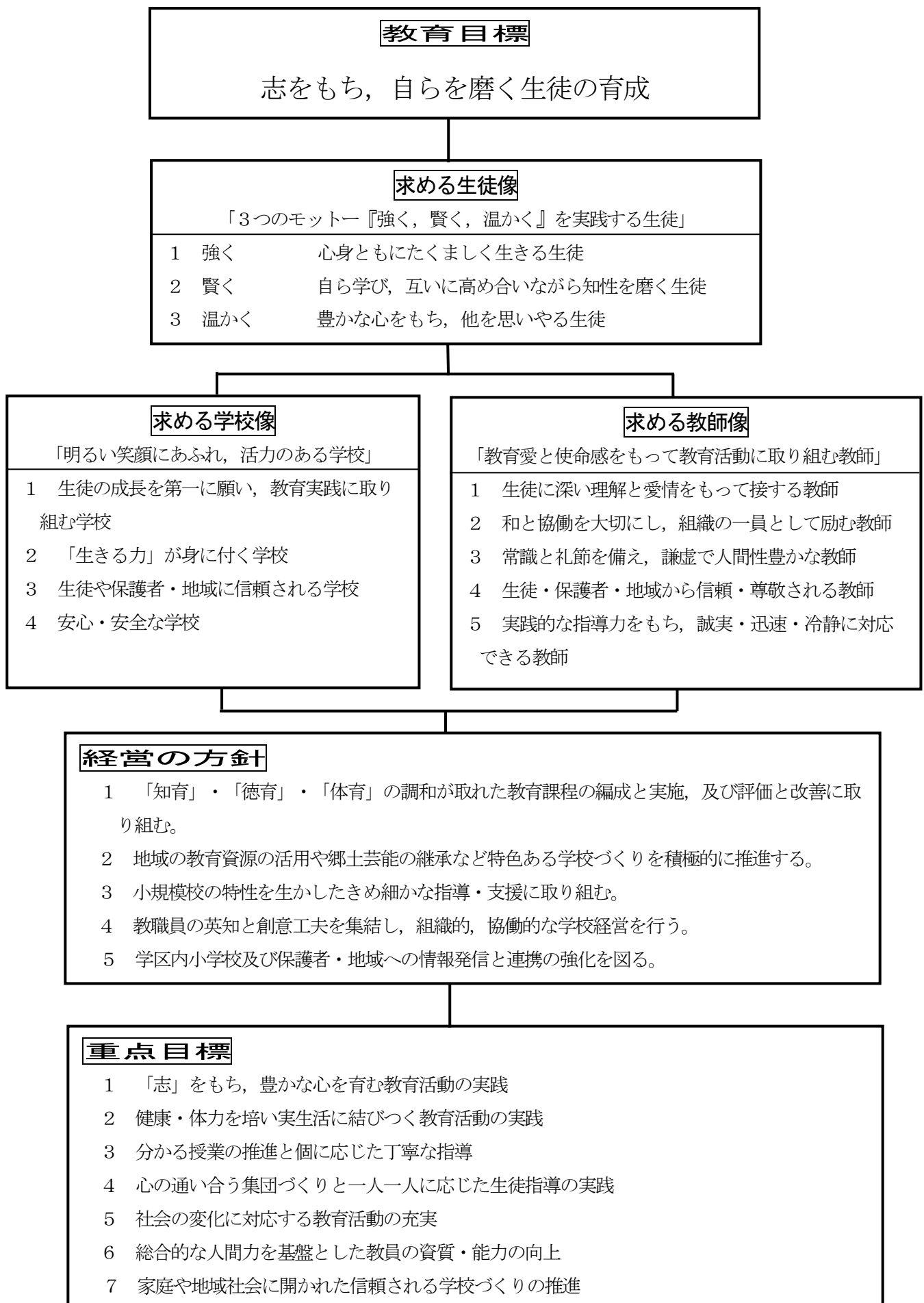


◎学校経営の基本方針



◎学校の沿革，地域の概要

本校は，昭和57年に旧東浜中学校と荻浜中学校が統合して，旧荻浜小学校跡地に荻浜中学校として開校し，36年目を迎える。平成24年11月には開校30周年記念行事を実施した。

本校のある荻浜地区は，牡鹿半島の南岸中央の荻浜を中心とした，折浜・蛤浜・桃浦・月浦・侍浜・荻浜・小積浜・牧浜・竹浜・狐崎浜・鹿立・福貴浦の12地区（浜）で形成されている。カキ養殖業及び沿岸漁業を営む世帯が大半を占めており，経済的に安定している。

しかし，平成23年3月11日に発生した東日本大震災により，地区の大部分の家屋が倒壊・流失する甚大な被害を受けた。学校も体育館・新校舎が浸水したが，8月初旬まで本校舎が主に荻浜の住民の避難所となり，生徒たちは避難者とともに学校生活を送った。その間，各浜や市内各所に仮設住宅が建設され，住民の入居が進むと転出生徒が相次ぎ，生徒数が減少した。また，生活環境や友人関係が変化したことで，生徒たちの心の揺らぎも見られたが，全校体制で取り組んだ2月の立志式以降，落ち着いた学校生活を取り戻した。

生徒は東浜小学校，荻浜小学校より入学していたが，平成26年3月に荻浜小学校が休校となり，26年度からは東浜小学校だけから新入生を迎えている。学区は東西に広く，生徒はスクールバスで通学している。部活動は，男女が入部できる野球部と個人でも大会等に出場できる陸上部の2つであったが，平成29年度からバドミントン部を常設部に加えた。

保護者及び地域の学校教育に対する関心は高く，奉仕作業等にはほとんど全ての保護者が参加する。また，保・小・中合同の運動会や文化祭にも地域をあげて参加するなど，大変協力的である。本校が開校以来，取り組んできた獅子風流伝承活動やそれを披露する地区巡りも，地域のこうした姿勢に支えられてのものである。

◎校歌

			校歌
		作詩 福原 八郎 作曲 さとう 宗幸	
一	牡鹿の嶺の影深く 八潮路はるか開け行く ここ東海の名勝に そびえて立てる学び舎は 浜なす香るわが母校		
二	広く世界を望みみて 南欧の使の船出せる 歴史を今に受け継いで 未来を見つめ意気高く 鷗のごとく羽ばたかん		
三	潮騒遠く響きあい かざす理想に光彩あり 強く・賢く・温かく 集いて学ぶ荻中の 若き生命に栄えあれ		